

鋼構造物点検ロボット

これまで難しかった小口径の鋼構造物を
点検しながら塗膜や鋼材厚さを連続で測定します！



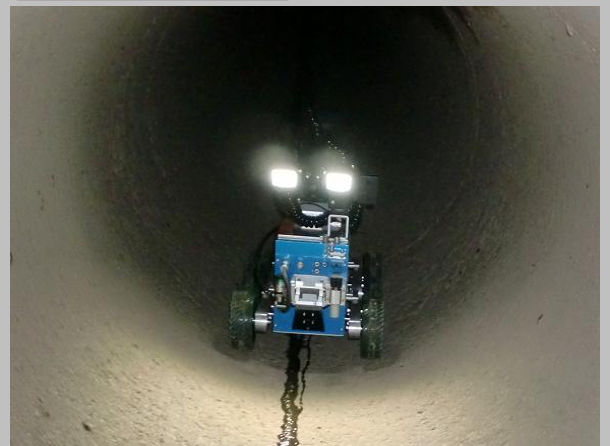
- ・これまで難しかった小口径鋼構造物の点検を安全に行えます。
- ・鋼材厚さや塗膜厚の連続測定データより、腐食や塗膜の状態を確認できます。
- ・点検、厚さ測定を同時にでき、鋼構造物点検を効率的に行えます。

点検ロボットの構成



- ・点検用CCDカメラと、鋼材や塗膜の厚さを測るセンサーを搭載。
- ・走行距離を表示して、不具合箇所の位置の特定が可能。

鋼管内部走行状況



- ・マグネット車輪により、90°の勾配の鋼管も走行可能。
- ・リベットや伸縮継手など50mm程度の段差も乗り越え走行可能。
- ・鋼管内部の点検、測定は、埋設鋼管部や鋼管を固定している部分も可能。

■問合せ先■

東京電設サービス株式会社
<http://www.tdsnet.co.jp>

TDS 営業本部

TEL 03-6371-3140
FAX 03-6371-3139

鋼構造物点検ロボット

基本性能

○連続点検(カメラ撮影)範囲
・作業基点より下流150mの管内面全周

○測定適用範囲
・鋼管直径 600~3000mm
・板厚 5mm~80mm
・塗膜厚 0.1mm~5.0mm

○走行性能
・速度 可変式(最大5m/min)
・段差50mm程度まで乗り越え可能

ロボット、周辺機器の仕様

ロボット仕様

○点検装置

・寸法 長114×高167×巾128mm
・前方カメラ 撮像素子 1/4型CCD
有効画素数 38万画素
光学10倍ズーム
電子ズーム 4倍
オートフォーカス
撮影範囲 仰角 85° 伏角 70°
水平355°
・照明 LED照明(照度調整可能)

○走行装置

・寸法 長480×高190×巾250mm
・駆動モーター DC24V, 72W×4台
・車輪吸着力 200N/1車輪程度



ロボット点検画面



周辺機器名称	諸元	
ラジオコントローラ	寸法	L105×H155×W265mm
	重量	0.9kg
	制御項目	ロボット本体の前進、後進、左右移動、速度
	電源	DC12V(ニッカド電池)
測定制御装置	寸法	L390×H300×W450mm
	重量	19.3kg
	制御項目	走行装置本体の電源ON、OF、F、センサ部の上げ下げ、媒質(水)供給ON、OFF
	電源	AC200V
制御ケーブル	ケーブル仕様	複合22芯、水(接触媒質)ホース内蔵
	寸法	φ17mm×50m×3本
	重量	37.5kg
水供給用ポンプ	寸法	L100×H104×W150mm
	重量	3.6kg
	揚程	14m
	吐出量	230cc/min
発電機	寸法	L450×H380×W240mm
	重量	14kg
	定格出力	100V, 6A

測定データ表示

